

RACE REPORT

Japanese Endurance Race

Super Taikyu

ENEOS BRIDGESTONE

Auto Labo

#290 AutoLabo Racing 素ヤリス

ENEOS スーパー耐久シリーズ2024 Empowered by BRIDGESTONE
第5戦 SUZUKA S耐 5Hours Race

日時：2024年9月28～29日 サーキット：SUZUKA CIRCUIT
予選日：2024年9月28日 決勝日：2024年9月29日

ドライバー：Aドライバー横尾 優一 Bドライバー村田 悠磨
 Cドライバー北川 剛 Dドライバー小尾 夏月

< STEL専有走行 >

前戦のモテギでは、ECU系のトラブルによりリタイヤとなってしまう。このトラブルの原因追及ができたのは、レースウィークの火曜日。一時はレース参戦すら難しい状況ではあったが、メカニック、メーカー様のご協力もあり、無事鈴鹿でマシンの姿を見ることができた。今回はDドライバーに、ヤリスカップで経験を積んできた”小尾夏月”選手がスーパー耐久初参戦。金曜日の午前に行われた専有走行では、まず村田がマシンに乗り込みマシンチェックを行った。モテギでのトラブルは解消されており、順調に周回を重ねていった。続いて、小尾、横尾と走行し午前の走行を終えた。午後の走行は北川からスタート。マシンセットの確認を行い、村田、小尾、横尾とドライバー交代。初走行の小尾も好タイムマークし、トラブルもなく専有走行が終了となった。

< 予選 > 15位 / 15台中

予選日の午前中にはフリー走行が行われ、午後2時から予選が開始となった。気温は28度、湿度は70%という蒸し暑いコンディションの中、Aドライバー予選が始まり、横尾がコースイン。横尾は3周を走行し、タイムは2'41.713となった。マシンを温存する為、早々に予選を切り上げた。続いて、Bドライバー予選。村田がコースインしていく。村田は4周を周回しタイムは2'39.315をマークする。Cドライバー予選の北川は、決勝に向けブレーキの焼き入れを行い、Dドライバー予選の小尾は、ガソリンを満タンにしてのマシンチェックを行った。15台の最多エントリーとなったST5クラス。今回こそ決勝を走り切りたい思いはチーム全員にあり、チーム力で1つでも上を目指していくことを誓った。



AutoLabo Racing PARTNERS

YOSHINO MOTORS

株式会社 ミライズ

KTC

光自動車

龍白

Factory

Ride

RACE REPORT

< 決勝 > 10位 / 15台中

迎えた決勝日。朝から雨がコースを濡らし、ピットウォーク中には強い雨が鈴鹿サーキットに降り始める。しかし、その雨も決勝直前に止んだものの、路面は乾ききらずウエットコンディションのままスタートを迎える事となった。スタートドライバーは横尾が務める。11時45分のフォーメーションラップスタートが始まり、ウエットコンディションではあったが、路面が乾く事を見越して、スリックタイヤでのスタートとなった。まだまだ水しぶきが上がる難しいコンディションの中、5時間の決勝がスタートしていく。集中力を高め、慎重にグリップするラインを探していく横尾。徐々に路面も渴き始めるが、ラインを外すとまだまだ濡れているところも多くあった。刻々と変化していく路面の中、横尾は27周を走り切り、ドライバー交代へとピットに戻ってくる。横尾からパトンを受けとったのは、小尾。初参戦の小尾だが、柔軟な対応をみせ、安定したペースで周回を重ねていった。ここまでマシンに問題はなく、順調にレースが進んでいく。



スタートから2時間30分が過ぎた49周目、小尾は自身のステイントである22周を走り切りピットイン。ドライバーを小尾から、今回専有走行から速さをみせていた村田へと交代していく。コースインした村田は2'40秒台の安定したレースラップで、クラス11番手を走行していく。65周目には給油のみのピットインをするも、ここまで順調にきていた。いよいよレースも1時間30分を切った76周目、最終ステイントの北川へとドライバー交代。コースインした北川だが、またしてもABSのランプが点灯していることに気付く。すぐさま無線でマシンの状況を伝え、ピットでは緊急ピットインの準備が進められた。ピットの準備が進められる中、走行を続けていた北川だったが、やはりブレーキングでリアタイヤがロックしてしまうトラブルに見舞われていた。ピットの準備が整い、緊急ピットイン。迅速なメカニックの作業で最小限のロスでコース復帰することができた。その後は、トラブルもなくクラス10位でチェッカーを受ける事となった。

< 代表コメント >

レース中、またしてもABSのトラブルにより想定外のピットインがありましたが、チームクルーが一丸となって迅速な対応をしてくれたので、最小限のロスで済みました。何より、今シーズン初完走、初ポイントなのでまずは一安心です。まだまだ課題はありますが、一つ一つ乗り越えていきますので、応援宜しくお願い致します。



AutoLabo Racing PARTNERS

